

# 消えゆく日本の伝統文化を垣間見に行く旅 阿仁マタギ・ブナ林のかんじき体験・ 秋田内陸縦貫鉄道・森吉山スノーモンスター

1泊2日

## 現役マタギから話を聞くマタギ文化と歴史

かつて北東北には厳しい掟を守り、山と共に生きた「マタギ」という狩人の集団が存在しました。1000年にも及ぶマタギ生活の文化と歴史を、先祖代々マタギの家系に育ち15歳で打当マタギとなり、70歳を超えた今もなお現役として、頭領である「シカリ」を務める「鈴木英雄氏」に紐解いていただきます。



現役マタギの鈴木英雄氏

## 「マタギ語り」と「かんじき」・「雪中鍋」体験

鈴木さんから夜は狩猟の体験談、熊の生態、マタギの道具や風習についてお話を伺い、二日目は鈴木さんと大川さんの案内で「かんじき体験」です。周辺の田んぼやブナ林の中を歩き、動物の痕跡を探したり、ワラダという罠の仕組みを見ます。そして昼食には皆で雪の中で鍋を作って食べます。



雪中鍋 ブナ林の中のかんじき体験

## 打当温泉「マタギの湯」

マタギの生活を理解できるように、小規模ながら併設された資料館、マタギ語り、体験など学術的にも地域文化を知るためにも尽力しているお宿です。また、地元栽培の米、森吉山の清澄な伏流水で手作りした昔ながらの素朴な「濁り酒」=どぶろくは、こちらだけでしか頂けません。打当温泉は「マタギ」の方々も疲れや傷を癒した名湯です。

## 森吉山で出会うスノーモンスター

阿仁 Gondola に20分程の乗車後、山頂駅より徒歩5分程でスノーモンスターに会うことができます。こちらの魅力は手を伸ばすと触れられる距離まで樹氷に近づけることです。山岳ガイドの大川さんの案内で樹氷ができる仕組みなどを聞きながら約40分鑑賞コースを歩きます。



大川美紀氏



森吉山スノーモンスター

## 秋田内陸縦貫鉄道

秋田県を南北に横断する全長94.2km、29駅をつなぐ鉄道です。無人駅も多数存在し、雪景色をまとった里山の原風景の中、ガッタンゴットンと小さな車両が走ります。



秋田内陸縦貫鉄道

### ご注意

- 服装は、スキーウェア・帽子・手袋などの防寒具・滑らない防寒靴をご用意ください。  
※かんじき体験時には長靴をお借りします。
- 天候、道路のコンディションなどやむを得ない事情によってはルート・設定時間の変更または中止とさせていただきます。



マタギ(イメージ)

旅行期間	2022年1月26日(水)~27日(木)		
旅行代金	2名様1室利用(お一人様) 93,000円 ※1名様1室利用追加代金2,000円	募集人員	16名様 (最少催行人員10名様)
宿泊ホテル	打当温泉 秘境の宿 マタギの湯 (洋室または和室)		
1	8:55羽田発 → 10:05大館能代空港着 ジャンボタクシーに分乗して森吉山へ移動 → 12:00お弁当の昼食 → Gondolaにて山頂駅へ → 13:00大川氏の案内でスノーモンスター鑑賞 → 14:20 Gondolaにて山麓駅へ下山 → ジャンボタクシーにてお宿へ → 16:20 「マタギの湯」チェックイン → 夕食後、鈴木英雄氏による「マタギ語り」 食事:朝×・昼○(お弁当)・夕○【マタギの湯(泊)】		
2	朝食後マタギ資料館の見学 → 10:30「マタギの湯」出発 → 鈴木英雄氏・大川氏の案内でかんじき体験・冬のブナ林の探索 → 雪中鍋の昼食 → 14:00~15:00マタギの湯で入浴 → 15:53阿仁マタギ駅より秋田内陸縦貫鉄道乗車(約40分乗車) → 16:35角館駅到着 → 16:58秋田新幹線にて東京へ → 20:04東京着 食事:朝○・昼○・夕○(軽いお弁当)		
■添乗員/同行します。 ■食事/朝食1回・昼食2回(お弁当含む)・夕食2回(お弁当含む) ■交通機関/航空機(全日空または日本航空)・JR・秋田内陸縦貫鉄道・ジャンボタクシー			